



2021年10月11日

各位

会社名 寿スピリッツ株式会社
 (URL <https://www.kotobukispirits.co.jp/>)
 代表者名 代表取締役社長 河越誠剛
 (コード: 2222 東証第一部)
 問合せ先 取締役経営企画部部長 松本真司
 T E L 0859(22)7477

2022年3月期第2四半期の売上状況(概算)について

2022年3月期の第2四半期(2021年4月1日~2021年9月30日)の売上状況(概算)についてお知らせいたします。

第2四半期累計売上高(概算) 11,957百万円 前年同期比 51.3%増(前々年同期比 46.6%減)

●四半期別売上高(概算)

(単位:百万円)

	1 Q 4月~6月	2 Q 7月~9月	2 Q累計
前期	2,716	5,189	7,905
当期	5,758	6,199	11,957
増減額	3,043	1,010	4,052
前年同期比増減率	112.0%	19.5%	51.3%

(ご参考:前々年同期比増減)

(単位:百万円)

	1 Q 4月~6月	2 Q 7月~9月	2 Q累計
前々四半期	10,627	11,761	22,388
増減	△4,868	△5,562	△10,431
増減率	△45.8%	△47.3%	△46.6%

●セグメント別売上状況(概算)

(単位:百万円)

	2 Q(7月~9月)				2 Q累計(4月~9月)			
	当四半期	前四半期	増減	増減率	当四半期	前四半期	増減	増減率
シュクレイ	2,252	1,584	668	42.2%	4,257	2,259	1,998	88.5%
ケイシイシイ	2,001	1,676	325	19.4%	4,107	2,789	1,318	47.2%
寿製菓・但馬寿	1,279	1,309	△29	△2.2%	2,410	1,889	521	27.6%
販売子会社	615	544	71	13.0%	1,138	752	386	51.4%
九十九島グループ	528	505	23	4.6%	1,043	729	314	43.1%
その他	142	118	24	20.7%	219	250	△31	△12.3%
小計	6,818	5,736	1,082	18.9%	13,175	8,668	4,507	52.0%
(調整額)(注)1	△619	△547	△73	—	△1,218	△764	△454	—
合計	6,199	5,189	1,010	19.5%	11,957	7,905	4,052	51.3%

(ご参考：前々年同期比増減)

(単位：百万円)

	2Q(7月～9月)				2Q累計(4月～9月)			
	当四半期	前々四半期	増減	増減率	当四半期	前々四半期	増減	増減率
シュクレイ	2,252	4,205	△1,952	△46.4%	4,257	7,830	△3,572	△45.6%
ケイシイシイ	2,001	2,894	△893	△30.9%	4,107	5,771	△1,665	△28.8%
寿製菓・但馬寿	1,279	3,088	△1,809	△58.6%	2,410	5,778	△3,368	△58.3%
販売子会社	615	1,724	△1,109	△64.3%	1,138	3,330	△2,192	△65.8%
九十九島グループ	528	1,258	△730	△58.0%	1,043	2,318	△1,274	△55.0%
その他	142	202	△60	△29.7%	219	460	△241	△52.4%
小計	6,818	13,371	△6,553	△49.0%	13,175	25,487	△12,312	△48.3%
(調整額)(注)1	△619	△1,610	990	—	△1,218	△3,100	1,882	—
合計	6,199	11,761	△5,562	△47.3%	11,957	22,388	△10,431	△46.6%

(注) 1. 調整額は、セグメント間の内部売上高であります。

2. 2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を適用しております。過年度の数値については、当該会計基準等の適用前の金額であり、増減額及び増減率につきましては、当該数値により算出したしております。

[補足説明]

当第2四半期会計期間(7月～9月)

当第2四半期会計期間(7月～9月)は、新型コロナウイルス感染症の新規陽性者数の急拡大に伴い7月に発出された4度目の緊急事態宣言が9月末まで延長されたことにより、依然として厳しい環境下で推移いたしました。

当期間の売上高は、国内外における移動制限及び外出自粛、昨年実施された政府の消費喚起策も無かったことで土産需要が引き続き低迷した一方、通信販売及び自家需要対策並びに期間限定出店の強化などに努めた結果、売上高は前年同期比19.5%増の6,199百万円となる見込みであります。一方で、前々年同期比では47.3%減となり、依然として低い水準で推移いたしております。

月別の売上高(海外子会社除く)は、7月が前年同月比44.3%増(前々年同月比37.6%減)、8月が同17.4%増(同54.0%減)、9月が同0.7%減(同48.9%減)となりました。

前々年同期比で見たセグメント別では、各セグメント軒並み苦戦を強いられた中、「ケイシイシイ」は、通信販売の好調などにより、他のセグメントに比べ減少幅は小さく推移いたしました。

当第2四半期累計期間(4月～9月)

当第2四半期累計期間(4月～9月)の売上高(概算)は、前年同期比51.3%増(前々年同期比46.6%減)の11,957百万円となる見込みであります。

[業績予想について]

2022年3月期の業績予想につきましては、適正かつ合理的な業績予想の算定が非常に困難なことから「未定」といたしております。今後の動向を見極め、開示が可能になった段階で、速やかに開示する予定であります。

なお、当第2四半期の決算発表は、2021年11月4日(木)の予定であります。

以 上